

広島市平和記念公園 レストハウス

リニューアル!!
Renewal

世界遺産である原爆ドームと平和記念公園を結ぶ元安橋のたもとにあり、1929年に建造された被爆建物です。

現在は観光案内所兼休憩所として使用されており、被爆75年を迎える本年7月に、被爆当時の姿を模してリニューアルオープンします。



コンセプトは“つなぐ” “つながる”

「歴史／文化／ひと／まち／未来」をつなぐコミュニティスペースです。

地域商社事業として管理運営をスタート！

1F

まちを
“つなぐ”



観光案内・物産品販売

平和記念公園をはじめ、広島県内や中国地方などの観光情報を発信します。ピースツアーなど街歩きプランを紹介する観光カウンターと、広島の話題の商品やお土産などを扱う“レストハウスショップ”を併設します。



2F

ひとを
“つなぐ”



休憩・喫茶ホール

被爆の惨状を越えて平和への祈りを伝える「被爆ピアノ」を展示します。“ピアノカフェ”で旅のひととき、ゆっくりとコーヒータイムを楽しんでいただけます。さらに、折り鶴制作や着物の着付け、書道などの和文化体験、観光PRイベントなども予定しています。



B1

歴史・文化を
“つなぐ”



展示室

レストハウスは被爆時は燃料会館と呼ばれており、原爆投下により屋根が吹き飛ばされ、地下室を除き全焼するなど大きな被害を受けました。被爆時に近い状態で残る地下室において、その中で奇跡的に一人生き残った故・野村英三氏の証言やイラスト・資料などを、建物に息づく被爆の記憶として展示します。



3F

歴史・文化を
“つなぐ”



展示室・多目的室

緑あふれる平和記念公園はかつて、いくつもの町が存在し、広島の賑わいの中心でした。レストハウスのある旧中島地区の歴史とにぎわい、人々の当時の営みをパネルで紹介し、映像作品や新聞紙面を通して、未来へ広島の記憶を伝えていきます。



広島銀行は、レストハウスの管理運営に 「地域商社事業」として関わっています

広島銀行・広島電鉄・中国新聞社の3社が締結した基本合意に基づき、ひろでん中国新聞旅行へ資本参加し、2019年10月1日に「地域商社事業」が開始しました。

この事業の一つが、レストハウスの管理運営。
ミッションは、“地域を元気にする”こと

● 取組体制 ●

中国新聞社

広島銀行

広島電鉄

出資 ▼

ひろでん中国新聞旅行

⊕ 付加

新規事業（地域商社事業）

◎ 発行：2020年7月

◎ 編集：株式会社広島銀行 総合企画部 広報・地域貢献室

〒732-0804 広島市南区西蟹屋一丁目1番7号（仮店舗）

TEL (082) 247-5151

広島銀行

証券コード
8379

